



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 札

上場会社名 健康コーポレーション株式会社

コード番号 2928 URL <http://www.kenkoucorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀬戸 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 香西 哲雄

TEL 03-5337-1337

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,671	26.9	△498	—	△426	—	△322	—
24年3月期第2四半期	6,834	△0.7	54	△91.3	32	△94.6	△44	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △262百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △45百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△10.43	—
24年3月期第2四半期	△1.43	—

(注) 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,854	—	2,184	—	—	18.4
24年3月期	9,159	—	2,507	—	—	26.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,997百万円 24年3月期 2,439百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	235.00	235.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	1.74 ～2.18

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期(予想)期末の配当金については、平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割後の額を記載しております。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,228	50.4	1,012	11.3	967	3.1	674	△24.0	21.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割後の額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 3社 (社名) (株)エンジェリーベ、(株)ケーアイエスギ システムパーツ(株)、(株)ケーアイエスギ  
 ヤラリー、エムシーツーオフィス(株) 、 除外 2社 (社名) ヤラリー

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	308,590 株	24年3月期	308,590 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	308,590 株	24年3月期2Q	308,590 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 株式分割について

当社は、平成24年6月23日開催の定時株主総会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成24年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成25年3月期の配当予想及び連結業績予想については、該当事項をご覧ください。



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあるものの、欧州の債務危機を背景とした世界景気の減速や長期化する円高により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、当社子会社のグローバルメディカル研究所株式会社によるボディメイクジムの出店拡大を行い、当社グループの広告宣伝ノウハウを活かした新規顧客の獲得に努めたほか、当社商品・サービスの製造・業務委託を既存外注先から当社グループへ切り替えることによるコスト削減を行うなど、グループ内シナジーの強化に継続的に取り組みました。

当社の通販事業におきましては、第1四半期に続き積極的な広告宣伝活動を当第2四半期においても実施し、先行投資となる広告宣伝費を今期年度計画の8割程度（前年同期比30.1%増）まで投下いたしました。また、ボディメイクジムの新規出店に伴う広告宣伝費も増加したため、当初予想を下回る決算となりました。当社は上期で投下した広告宣伝費を下期において利益回収するビジネスモデルであり、更に今期は上期の広告宣伝投下額を拡大したため、営業損失額も当初予想比で増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,671百万円（前第2四半期連結累計期間は6,834百万円）、営業損益△498百万円（前第2四半期連結累計期間は54百万円）、経常損益△426百万円（前第2四半期連結累計期間は32百万円）、四半期純損失は322百万円（前第2四半期連結累計期間は44百万円）となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

#### (美容・健康関連事業)

美容・健康関連事業は、大きく分けて「美容関連分野」と「健康食品分野」になり、美容関連分野は主に、当社を中心に、株式会社ジャパングャルズ、株式会社アスティ及びグローバルメディカル研究所株式会社が事業を行っており、エムシーツー株式会社が美容関連・健康食品両分野においてコールセンター事業による販売支援活動を行っております。

この分野におきましては、当社の主力商品の一つである「ESTENAD（エステナード）」シリーズが、キャンペーン実施による単月での好調な売上はあったものの、費用対効果の高い広告宣伝媒体の獲得に苦戦し、顧客獲得単価が悪化したこと及び収益の柱となる美容液ジェルにおいて、まとめ買い促進によるリピート比率の低下により売上高、利益ともに計画を下回りました。

一方、主力商品に成長した「どろ豆乳石鹸 どろあわわ」はTVCM放送等の積極的な広告宣伝活動による商品認知度の向上に伴い、新規顧客の獲得と初回サンプル購入者の定期コースへの引き上げが好調でありました。

グループ会社の事業につきましては、株式会社ジャパングャルズにおいては、外部OEM受託事業及び店頭販売商品が好調であり、グローバルメディカル研究所株式会社においては、ボディメイクジムの店舗拡大による新規顧客の増加に伴って売上高が伸長した反面、新規出店のための先行投資費用が増加いたしました。

健康食品分野は健康コーポレーション株式会社と株式会社アスティを中心に事業を行っております。

この分野におきましては、美容関連分野の主力商品に比べ、広告宣伝費の投下額が小さいことから、大きな売上、利益には至らないものの、「元源黒酢」や「ひとてまい」等の機能別健康補助食品は前年

同期比を上回る売上を確保いたしました。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は6,425百万円（前第2四半期連結累計期間は5,761百万円）、営業損益は△441百万円（前第2四半期連結累計期間は291百万円）となりました。

#### （食品関連事業）

食品関連事業は、乳製品の加工受託及び製造販売事業を主たる事業とする株式会社弘乳舎を中心に事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、主力事業である生産余剰乳の加工受託事業は、震災影響を脱し、生乳生産量が回復したことで前年同期比売上を上回る結果となり、また、乳製品事業においては、新たに開始した液状乳製品（脱脂濃縮乳）事業も寄与し順調に推移いたしました。

この結果、食品関連事業の売上高は1,193百万円（前第2四半期連結累計期間は1,073百万円）、営業損益は62百万円（前第2四半期連結累計期間は△61百万円）となりました。

#### （アパレル関連事業）

アパレル関連事業は、マタニティウェアや出産内祝いギフト等を販売する株式会社エンジェリーベが事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、カタログ通販による売上は前年比で減収でありましたが、配送コストのほか、家賃やカタログ製作費等のコスト削減を更に強化し、利益に貢献いたしました。

この結果、アパレル関連事業の売上高は1,051百万円、営業利益は50百万円となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.9%増加し、7,183百万円となりました。これは主として、現金及び預金が581百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が919百万円、商品及び製品が368百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて31.4%増加し、3,671百万円となりました。これは主として、のれんが384百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて18.5%増加し、10,854百万円となりました。

### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて35.7%増加し、4,941百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が496百万円、未払金が353百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23.9%増加し、3,728百万円となりました。これは主として、社債が315百万円増加したことによるものであります。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて30.3%増加し、8,669百万円となりました。

### （純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて12.9%減少し、2,184百万円となりました。これは主として、利益剰余金が440百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期(通期)の連結業績予想につきましては、平成24年5月28日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式取得により新たに子会社化した株式会社エンジェリーベ、株式会社ケーアイエスギャラリー及びエムシーツーオフィス株式会社並びに重要性が増したグローバルメディカル研究所株式会社及びミウ・コスメティックス株式会社を連結の範囲に含めております。

平成24年4月1日付で、システムパーツ株式会社は、株式会社弘乳舎を存続会社、システムパーツ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結子会社でなくなりました。

平成24年7月1日付で、株式会社ケーアイエスギャラリーは、株式会社エンジェリーベを存続会社、株式会社ケーアイエスギャラリーを消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、当第2四半期連結会計期間より連結子会社でなくなりました。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,517,843	1,935,902
受取手形及び売掛金	2,354,428	3,273,637
商品及び製品	849,188	1,217,354
仕掛品	5,121	8,316
原材料及び貯蔵品	267,870	264,080
未収還付法人税等	100,349	9,052
その他	679,280	1,031,687
貸倒引当金	△410,107	△557,027
流動資産合計	6,363,973	7,183,004
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,007,114	1,019,999
その他(純額)	620,945	941,999
有形固定資産合計	1,628,060	1,961,999
無形固定資産		
のれん	829,396	1,214,107
その他	19,290	24,398
無形固定資産合計	848,687	1,238,505
投資その他の資産		
投資有価証券	23,449	40,916
その他	306,022	441,131
貸倒引当金	△10,996	△10,996
投資その他の資産合計	318,475	471,050
固定資産合計	2,795,223	3,671,555
資産合計	9,159,197	10,854,559

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,988	966,169
未払金	518,854	871,923
短期借入金	534,424	394,041
1年内返済予定の長期借入金	1,553,428	1,714,985
未払法人税等	48,832	115,307
賞与引当金	48,156	61,618
返品調整引当金	31,348	28,073
その他	436,132	789,369
流動負債合計	3,641,165	4,941,488
固定負債		
社債	218,900	534,500
長期借入金	2,504,672	2,591,738
役員退職慰労引当金	37,829	184,314
退職給付引当金	142,678	131,491
その他	106,160	286,342
固定負債合計	3,010,240	3,728,385
負債合計	6,651,405	8,669,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	189,250	189,250
利益剰余金	2,149,730	1,709,614
株主資本合計	2,438,980	1,998,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	495	△1,448
その他の包括利益累計額合計	495	△1,448
少数株主持分	68,314	187,269
純資産合計	2,507,791	2,184,685
負債純資産合計	9,159,197	10,854,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,834,764	8,671,038
売上原価	2,640,276	3,910,450
売上総利益	4,194,487	4,760,588
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,065,708	2,687,097
その他	2,074,435	2,571,592
販売費及び一般管理費合計	4,140,143	5,258,690
営業利益又は営業損失(△)	54,344	△498,101
営業外収益		
受取利息及び配当金	370	521
受取賃貸料	1,086	831
投資不動産売却益	9,801	—
保険解約益	—	53,100
匿名組合投資利益	—	38,366
その他	4,515	39,041
営業外収益合計	15,774	131,861
営業外費用		
支払利息	32,416	38,587
貸与資産減価償却費	17	—
その他	5,538	21,466
営業外費用合計	37,973	60,053
経常利益又は経常損失(△)	32,145	△426,294
特別損失		
固定資産除却損	2,354	115
役員退職慰労金	1,800	—
その他	562	—
特別損失合計	4,717	115
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	27,427	△426,409
法人税、住民税及び事業税	141,283	142,488
法人税等調整額	△68,880	△308,656
法人税等合計	72,403	△166,167
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△44,975	△260,242
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△648	61,758
四半期純損失(△)	△44,327	△322,000

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△44,975	△260,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△171	△1,944
その他の包括利益合計	△171	△1,944
四半期包括利益	△45,146	△262,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,498	△323,945
少数株主に係る四半期包括利益	△648	61,758

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	27,427	△426,409
減価償却費	103,331	102,668
のれん償却額	59,887	94,222
貸倒引当金の増減額(△は減少)	123,534	137,286
役員退職慰勞引当金の増減額(△は減少)	4,937	△54,668
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,788	△28,470
受取利息及び受取配当金	△370	△521
支払利息	32,416	38,587
投資不動産売却益	△9,801	—
保険解約損益(△は益)	—	△53,100
匿名組合投資利益	—	△38,366
固定資産除却損	2,354	115
売上債権の増減額(△は増加)	△690,085	△559,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	204,260	△219,251
仕入債務の増減額(△は減少)	△88,245	△31,433
その他	145,206	370,866
小計	△87,934	△668,023
利息及び配当金の受取額	370	692
利息の支払額	△32,377	△36,162
法人税等の支払額	△306,845	△78,708
法人税等の還付額	155,945	95,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	△270,842	△686,369
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13,653	△12,018
定期預金の払戻による収入	—	64,974
有形固定資産の取得による支出	△47,977	△181,765
有形固定資産の除却による支出	△1,884	—
投資不動産の売却による収入	46,266	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△234,705
子会社株式の取得による支出	—	△9,608
事業譲受による支出	—	△178,663
出資金の回収による収入	—	51,500
敷金の差入による支出	—	△80,295
差入保証金の回収による収入	—	12,991
保険積立金の解約による収入	—	132,503
貸付金の回収による収入	211	399
その他	2,217	2,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,819	△432,343

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△192,072	△140,383
長期借入れによる収入	1,113,325	900,000
長期借入金の返済による支出	△641,618	△881,460
社債の発行による収入	100,000	442,437
社債の償還による支出	△16,700	△73,700
配当金の支払額	△50,746	△72,327
少数株主への配当金の支払額	—	△6,284
その他	△2,980	△15,621
財務活動によるキャッシュ・フロー	309,208	152,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,224	△5,284
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,322	△971,337
現金及び現金同等物の期首残高	2,181,923	2,342,543
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,499	72,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,185,746	1,443,251

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	美容・健康 関連	食品関連	アパレル関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,761,102	1,073,662	—	6,834,764	—	6,834,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,215	—	10,215	△10,215	—
計	5,761,102	1,083,877	—	6,844,980	△10,215	6,834,764
セグメント利益又は損失(△)	291,598	△61,955	—	229,643	△175,298	54,344

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	美容・健康 関連	食品関連	アパレル関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,425,877	1,193,435	1,051,725	8,671,038	—	8,671,038
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	11,799	—	11,799	△11,799	—
計	6,425,877	1,205,234	1,051,725	8,682,837	△11,799	8,671,038
セグメント利益又は損失(△)	△441,198	62,757	50,442	△327,998	△170,103	△498,101

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「美容・健康関連」及び「アパレル関連」セグメントにおいて、株式会社エンジェリーベ及びエムシーツーオフィス株式会社の企業結合に伴い、第1四半期連結累計期間にのれんがそれぞれ171,725千円、114,425千円発生しております。

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社エンジェリーベが連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメント「美容・健康関連事業」「食品関連事業」に「アパレル関連事業」を追加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

また、会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

#### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### (7) 重要な後発事象

##### I 子会社間の吸収合併

当社の連結子会社であるエムシーツー株式会社は、連結子会社間で重複する経営資源を集約・再構築し、経営効率の一層の向上を図るため、平成24年10月22日開催の取締役会において、エムシーツーオフィス株式会社を吸収合併することを決議し、同日付で両社は合併契約書を締結いたしました。

合併契約の概要は、次のとおりであります。

##### (1) 合併の方法

エムシーツー株式会社を存続会社、エムシーツーオフィス株式会社を消滅会社とする吸収合併方式で、エムシーツーオフィス株式会社は解散します。

##### (2) 吸収合併に係る割当ての内容

当社が発行済株式の100%を保有する子会社であるエムシーツー株式会社と、その100%子会社であるエムシーツーオフィス株式会社との合併であるため、本件合併による新株式の発行及び資本金の増加、合併交付金の支払いはありません。

##### (3) 吸収合併に係る割当ての内容の算定根拠

該当事項はありません。

##### (4) 合併の期日

平成24年12月1日（予定）

## (5) 引継資産・負債の状況

エムシーツー株式会社は、平成24年9月30日現在のエムシーツーオフィス株式会社の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎とし、これに合併に至るまでの増減を加除した一切の資産、負債及び権利義務を合併期日において引継ぎいたします。

資産	金額(百万円)	負債	金額(百万円)
流動資産	131	流動負債	111
固定資産	5	固定負債	0
資産合計	136	負債合計	111

## (6) 吸収合併存続会社となる会社の概要

商号	エムシーツー株式会社
本店の所在地	東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
代表者の氏名	代表取締役社長 河野 正
資本金の額	10百万円
事業の内容	テレマーケティングサービス・コールセンター事業、ソフトウェア販売事業、カタログによる文房具、家具及び食料品の販売等

## II 株式の分割及び単元株制度の採用

当社は、平成24年6月23日開催の定時株主総会決議に基づき、平成24年10月1日付で、株式の分割及び単元株制度の導入を実施いたしました。

## 1. 株式の分割及び単元株制度の採用の目的

全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、証券市場の流動性及び利便性の向上を図るため、当社株式1株を100株に分割するとともに当社株式の売買単位を100株とする単元株制度を採用いたしました。なお、この株式分割及び単元株制度の採用に伴う実質的な投資単位の変更はありません。

## 2. 株式の分割の概要

## (1) 分割の方法

平成24年9月30日(日)(ただし、当日は休日のため、実質上は平成24年9月28日(金))最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

## (2) 分割により増加した株式数

平成24年9月30日(日)最終の発行済株式総数に99を乗じた株式数としました。

- ① 株式分割前の発行済株式総数 308,590株
- ② 株式分割により増加した株式数 30,550,410株
- ③ 株式分割後の発行済株式総数 30,859,000株
- ④ 株式分割後の発行可能株式総数 100,000,000株

## (3) 分割の日程

- ① 基準日公告日 平成24年9月14日(金)
- ② 基準日 平成24年9月30日(日) ※実質上は平成24年9月28日(金)
- ③ 効力発生日 平成24年10月1日(月)

### 3. 単元株制度の採用の概要

#### (1) 新設した単元株式の数

「2. 株式の分割の概要」の効力発生日をもって単元株制度を採用し、単元株式数を100株としました。

#### (2) 新設の日程

効力発生日 平成24年10月1日(月)

### 4. その他

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における1株当たり情報は、それぞれ以下のとおりであります。

#### 1株当たり四半期純損失金額

前第2四半期連結累計期間 △1円43銭

当第2四半期連結累計期間 △10円43銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。